

発行所 東京自治体労働組合総連合 〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館4階 TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957 発行人 矢吹 義則

定価1部10円 (ただし組合員の購読料は組合費に含まれています。-1人に1部配布) 本紙は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

# とっまよう 自治体の仲間

2023.8.21 VOL.399

http://www.tokyo-jichiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jichiroren.org

## コミュニティ・オーガナイズングを学び組織拡大につなげよう 第24回組織集会を開催

7月15日、東京自治労連第24回組織集会を開催しました。各単組・局支部より43人が参加し、①23春の組織拡大月間(4~6月)から現在までの到達点、教訓・課題の共有化や、23年秋の拡大月間を展望した構成、②コミュニティ・オーガナイズングの手法を学び、正規・非正規の組織拡大につなげる、③自治労連共済や労金を積極的に活用し、組織強化・拡大に結び付けるかの3点を意識統一しました。

市民の力で、社会は変わる

記念講演には、コミュニティ・オーガナイズング・ジャパンの中村果南子氏を迎え、コミュニティ・オーガナイズング(以下CO)について学びました。

COとは、市民の力で自分たちの社会を変えていくための方法であり考え方であり、「スイミー」に例えて紹介されました。たった一匹の赤い魚のスイミーが、他の黒い小さな魚たちの中に入り目となって、力をあわせて大きな魚を追い払う物語ですが、このことは小さな力を結集して大きな力をつくること、また違いを尊重し生かしていくこと、を表しています。



講演する中村果南子氏

実践事例として大阪府職労の「保健師・保健所職員」が、他の黒い小さな魚たちの中に入り目となって、力をあわせて大きな魚を追い払う物語ですが、このことは小さな力を結集して大きな力をつくること、また違いを尊重し生かしていくこと、を表しています。

増やしてキャンペーンが紹介されました。

コロナ禍の活動の成果

コロナ禍での保健師は心身ともに疲弊していました。保健師の増員を勝ち取りました。保健師が普段何をしている場所なのかというところを、ストーリー(漫画)を通じて伝えるなど、「戦略(頭)」をもって、「ナラティブ(心)」で訴えることを「行動(手)」にした結果です。このときの鍵は課題の当事者がその場所職場にいるということです。この当事者同志が直面している困難は何か、同志が持つ資源を問題解決能力パワーに変えられるか、が

重要です。職場での当事者を見て声をかけ、その人の特技を把握し役割について話ながら活動に誘い、定期的なミーティング(LINEグループ)などで一緒に活動していることを実感し、振り返りとお祝い(称えあう)ことで結果がでると話されました。

基調報告

基本の「キ」

基調報告は安田書記長が行い、労働組合として求められるものは、労働組合の基本の「キ」である、①職場の現状や問題点をどう正確につかむか、②その課題をどう要求に結び付けるか、③その要求を実現するためにどんな取り組みが必要なのか、④取り組んだ結果どう決着したのか、⑤決着の内容を組合員に分かりやすく説明するか、という理論と実践が重要なポイントになることなど、提起しました。

委員長・局支部長・分科会

8単組・2局支部から15名が参加しました。

各単組・局支部における組合加入の取り組みの実態と当局との関係性、新人歓迎会の持ち方など多岐に亘り報告を行い、どう組合活動を見えるようにするかなど話し合われました。発言では、問題点や課題



委員長・局支部長分科会

「お手紙作戦を契機に、組合運動は必要なもの、役員だけが頑張っても、要求は実現しないことを丁寧に伝える取り組みを、2023都・区賃金確定闘争での取り組みを通じて単組・局支部で、改めてすすめましょう。」

書記長

分科会

10単組・1局支部から13名が参加しました。分科会の中心は、各単組・局支部における組合加入の状況、新人歓迎会や青年向けの取り組みなど報告を行いました。組合加入の問題を、3点あげられました。



書記長分科会

1点目は、説明会を開いても加入に結び付かないという事です。説明会に参加はするが、その場での加入記入には至らないことが多い。2点目は、職場の組合役員や組合員が少なく、職場での加入がすすまない。ランチミーティングなど企画するも、職場の参加自体が少ない。3点目は、会計年度任用

各単組・局支部では、新人歓迎会や青年企画を計画している報告もありました。引き続き、地道な取組で加入拡大に踏み出しましょう。

### 「自治研活動は自治体労働運動そのもの」自治研推進委員会で学習



講演する吉川貴夫氏

「自治研活動とは何か」の歳出総額は120%増に達していることを説明しました。7月10日、東京自治労連自治研推進委員会が開かれ、自治体問題研究所事務局長の吉川貴夫さんが講演しました。吉川氏は「自治研活動とは、自治体労働者の労働条件改善へ向けた取り組みとしてデータと実例をもとに話しました。」

吉川氏は、特別区の職員数が2000年から2022年までの間で1万5,916人削減、22%減少している実態を特別区人事委員会「特別区職員給与等実態調査」から紹介しました。特別区普通会計は20年間で歳出総額が85%拡大する一方、職員給与は29%減少しており、職員一人当たりの財政に問題があることを突

人員不足は構造的につくられている。吉川氏は「自治研活動が目的でなく、要求実現のための自治研活動」であり「自治研活動は自治体労働運動そのものである」と話しました。吉川氏の講演は、学習動画として録画しています。職場の学習素材として活用ください。

職員不足は構造的につくられている。吉川氏は「自治研活動が目的でなく、要求実現のための自治研活動」であり「自治研活動は自治体労働運動そのものである」と話しました。吉川氏の講演は、学習動画として録画しています。職場の学習素材として活用ください。

職員不足は構造的につくられている。吉川氏は「自治研活動が目的でなく、要求実現のための自治研活動」であり「自治研活動は自治体労働運動そのものである」と話しました。吉川氏の講演は、学習動画として録画しています。職場の学習素材として活用ください。

### 野風俗

今年の夏は異常に暑い。そのため熱中症で病院に運ばれる人が多。大方が65才以上の高齢者で、死亡率も高い。7月1ヵ月間だけで約1万1千人の人が救急車で搬送されている。熱中症は日射病と異なり、夜寝ていても発症して命を落とす。最近、東村山市内で90代と80代の夫婦、70代の夫婦が相次いで熱中症で亡くなった。

「エアコンのスイッチが入っておらず、扇風機だけが回っていた」と、一方的に決めつける。これらとおおしくないかしら。「扇風機だけが回っていた」と冷たく突き放すが、電気代が大幅に上がったこと、諸物価の高騰で、三食すら満足に食べられない人が少なくないことなど、この現実が見えないのかしら。扇風機で涼をとり、電気代を節約している姿が。岸田さんは、国際情勢が変わった、国民の命と財産を守るためには、軍事費を増やす以外にないと大軍拡路線にまっしぐら。5年間43兆円は多過ぎます。トマホークやミサイルは食べられません。エアコンの代わりになりますか。ノーです。早急に、各国で実施している消費税を下げてください。

# まみんの一歩

わたなべ 幸



## 自治労連関東甲越野球大会

# 惜しくも2回戦敗退

7月29日、自治労連関東甲越ブロック野球大会が茨城県常総市石下野球場で開催され、東京都代表の板橋も敗れました。

1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	計
鎌倉市職労	0	0	0	0	0	0	0	0
板橋区職労	3	1	1	0	0	×		5

2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	計
板橋区職労	2	0	0	1	1	0	0	4
所沢市職労	1	0	4	0	0	0	×	5

〔1回戦〕  
1回表、板橋の先発ピッチャー熱田選手(若木保育園)は、簡単に2アウトを取った後、フォアボールを与えましたが、4番をピッチャーフライに打ち取り、0点に抑えました。その裏、先頭の堺選手(学務課)がレフトへのヒットで出塁すると、高橋選手(スポーツ振興課)の2塁打で先制。田中選手(土木計画・交通安全課)もヒットで続き、相手チームのミスも重なり3点目が入りました。

〔2回戦〕  
1回表、板橋は1回表、堺選手、後藤選手(防災危機管理課)のヒットで2点を先制しましたが、所沢は3回裏、本塁打などで逆転。板橋は、浅井選手(課税課)・竹内選手(納税課)の好守で流れを引き込み、4回表に松原選手(学務課)の3塁打、5回表には塩浦選手の3塁打などで1点ずつ返しましたが、惜しくも4対5で敗れました。来年は、全国大会をめざして奮闘を期待します。

2回裏は、この回先頭の塩浦選手(区議会事務局)が3塁打でチャンスを作り、1点を追加。3回裏にも、松原選手(工事設計課)のヒットをきっかけに1点を追加しました。

## 『2023原水爆禁止世界大会』長崎』に行ってきました！

中央執行委員 石澤 清光

原水爆禁止世界大会(2019年)以来の現地・長崎大会に参加しました。主催者発表では1日目、300人十オンライン、500人、2日目、800人十オンライン、500人が参加。日本全国から、そして海外政府代表など世界から多くの人が集まりましたが、招待されていない「台風6号」までやってくる急遽3日間から2日間に短縮された大会となりました。

若い世代への伝承する立場  
自分自身の原水爆禁止世界大会への現地参加は、8回目で、毎年「初めて参加する若い世代の組合員」に声を掛け、世話役として参加を続けています。「毎年参加したい！(参加しなければ！)」と思うようになったきっかけは、先輩職員が存在した。その先輩は地域原水協の事務局長もされ、運動する姿を見るたびに、「後継として跡を継いでいかなければ！」と思うようになったからです。

今回、東京自治労連青年部からの現地派遣(文京区から2名)と一緒に行動になりましたが、全体的にも若い世代の参加者が例年よりも多かったように感じます。7月27日の「平和行進(新宿区・文京区)」で一緒に歩いた高校生とも現地です。今年9日午前11時2分でしたが、ひっそりと一緒に黙とも行った青年参加者の感想は次の通りです。

今年同行した青年2人の長崎に対する見方は、「修行旅行で1回来たことがあるだけ」「これまで観光などでは来ているが、『被爆地』という観点はなかった」というものでした。空き時間を利用して、可能な限り「被爆遺構」などの、「現地・長崎」を独自に見て回る計画をたてました。結果、刻々の行動となり、「原爆資料館」には最終入館時間に滑り込むことになったり、「稲佐山ロープウェイ(下り)」の最終便に乗り遅れるなどのハプニングもありました。猛暑の中、「平和公園」「爆心地」「被爆当時の地層」「如己堂」「浦上天主堂」など案内して回ることもできました。専門のガイドはいませんでした。現場を直接見て、感じることは大変強い印象を残します。それが多くの人に受け継がれ、「核兵器廃絶」の運動に繋がることが願います。

台風により福岡空港で迎えた8月9日午前11時2分でしたが、ひっそりと一緒に黙とも行った青年参加者の感想は次の通りです。『3日間の予定が台風の影響で2日間となり、縮小され参加人数も限られましたが、その中でも少しでも平和への声をあげること、祈りを捧げる事が出来てよかったです。』



青年派遣の二人と

今、改めて日本国憲法の前文にある『政府の行爲によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し』を認識し、「抑止力論」では平和は維持できないことを訴えていかなければならないと強く感じる大会でした。

## 組合員のための無料法律相談

日時 9月21日(木)13時～  
場所 城北法律事務所  
担当 片木 翔一郎弁護士

次回の先生はこちら！

東京自治労連の組合員はどなたでも無料(初回のみ)。東京自治労連の顧問弁護士の弁護士に相談できます。ご希望の方は下記までご連絡ください。

東京自治労連・法律相談係 Tel.03-5940-7951

## いまこそあなたと家族をささえる 自治労連 共済

2023年 加入キャンペーン実施中! ~9月30日まで

セット共済の効力開始は10月からとなります。  
※9月以前の効力開始希望の方はご相談ください。百保会での加入となります。

新規加入で!!  
保障アップで!!  
クーポンプレゼント!!

2023年制度改定で  
よりシンプルに  
さらにパワーアップ!!

自治労連共済東京支部  
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 4階  
TEL 03-5319-7127 FAX 03-5319-7156  
http://www.kyosai-group.jp

加入者	加入料
本人	2,000円分
配偶者	1,000円分
子ども	1,000円分

セット共済  
ご家族で加入  
本人のみ 3,000円分  
ご家族で加入  
ご家族で加入  
ご家族で加入

火災共済  
新規物件加入または1000以上の口数増  
1物件あたり 1,000円分

風水害特約  
スタート!